

第 12 回 Database Quality Improvement Conference

プログラム

日時：2018 年 9 月 8 日（土） 午前 10 時 30 分～午後 4 時 15 分

場所：八重洲ホール地下 2 階 (<http://yaesuhall.co.jp/accessmap/>)

プログラム

10:30-10:35

開会挨拶

楠田 聡

杏林大学

10:35-11:00

ネットワークデータベース年次報告

楠田 聡

杏林大学

11:00-11:50

Improving newborn care using real-world data: the UK National Neonatal Research Database.

Neena Modi

Professor of Neonatal Medicine

Imperial College London, UK

Director

Neonatal Data Analysis Unit

11:50-12:20

International Neonatal Consortium と新生児医薬品開発の状況

北東 功

聖マリアンナ医科大学

12:20-12:50

Lunch

12:50-12:55

国際共同臨床試験の紹介

楠田 聡

杏林大学小児科

12:55-13:25

10年間のまとめ事業報告

中西秀彦

北里大学小児科

13:25-13:55

NRN データ新規項目について

平野慎也

大阪母子医療センター

諫山哲哉

国立成育医療センター

13:55-14:05

新しい倫理審査の結果報告

平野慎也

大阪母子センター

14:05-14:10

休憩

14:10-16:10

「今後のNRNJに関するシンポジウム」

北里大学 中西秀彦、成育医療研究センター 諫山哲哉

はじめに

平野慎也 大阪母子医療センター

International Neonatal Consortium の立場からNRNJ への提言

小久保雅代 長野県立こども病院

日本のCLD分類に関するアンケートに基づいた今後のNRNJ への提言

新井浩和 秋田赤十字病院

他のデータベースとNRNJデータベースとリンケージでできること

森崎菜穂 成育医療センター

NRNJ データを使った研究論文執筆を通して見えてきた NRNJ の問題点と改善点
井上普介 九州大学、木村丈 京都大学

16:10

Closing remarks